

石川民医連と医師をめざすすべてのみなさんをつなぐ

2024
Spring
62

みまっし通信



能登半島地震 支援活動

特集

医学生が見た被災地

医学生・医療系学生サポートセンター紹介

次回「みまっし通信」は 城北病院初期研修医を紹介します！

表紙写真 お風呂から上がった利用者さんと手を握る「さくらの木」の職員

発行
石川県民主医療機関連合会
医学生担当
金沢市京町24-14
076-253-1458
gakusei@imin-iren.jp

能登半島地震 支援活動

2024年3月-4月

医学生が見た被災地

2024年元日に発生した能登半島地震では、石川民医連に加盟する輪島診療所や羽咋診療所、葉の花薬局、介護事業所などが甚大な被害を受けました。石川民医連では1日に地震対策本部を城北病院内に設置し、医療介護支援を行って来ました。また城北病院や入居系介護事業所では能登地区からの患者さんを受け入れ、被災者、避難者の方への支援を行って来ました。

4か月が経とうとしていますが、被害も広域、広大な上、復旧手つかずの地域も多くあります。現在、石川民医連では医療支援については一旦落ち着いたため、生活支援に力を入れて地域の生活再建に長期的に関わっていくことを課題としています。

医学生のみなさんもいろいろな活動やボランティアに参加したり、考えることもたくさんあったかと思います。石川民医連で支援活動に参加協力してくれた医学生の様子を活動の内容とあわせてご紹介します。

3月 加賀市山代温泉（2次避難施設）健康チェック



医学生6名の他に医師、看護師、理学療法士などが参加
輪島市、珠洲市からの避難者53名が健康チェックを利用



輪島診療所の生方医師



健康チェック後に医学生が被災時のこと、地域への想いなどを聞き取り

◆被災者に想いに寄り添う

加賀温泉では2次避難所として奥能登の多くの方々の受け入れを行っています。慣れない避難所生活のなかで能登から遠く離れた地域でどのように過ごされているか、被災者のみなさんが少しでも健康で安心した生活が送れるようにと、無料の健康チェックを行おう、と医学生にもボランティアを呼びかけ6名が参加しました。

健康チェックでは血圧、血管年齢、骨密度、下肢筋力とバランス測定、医師による健康相談を無料で行いました。能登の人のために少しでも役に立ちたいという医学生には、今回は医療的な部分だけでなく生活や不安面に寄り添うことが、今の被災者には必要なことではないかと考え、健康チェックで健康状況を把握してもらった上で、被災状況や現在の生活について聞き取りを行いました。

避難されている方の中には石川民医連が毎年行ってきた地域医療フィールドワークで学ぶ場を提供して下さっていた大沢地区（加賀温泉からは156kmも離れています）の方もいらっしゃいました。遠く離れた避難先で不安もあるでしょうが、お元気そうな姿があり、笑顔の再会となりました。

避難所となっているホテルには高齢者、子ども、妊婦…避難するには多くの配慮を必要とする方が多く生活していることが分かりました。今すぐ治療が必要な方はいらっしゃいませんでしたが、眠れないなど長引く避難生活での不安などを話される方もいらっしゃいました。今回は53名の方が健康チェックに参加しましたが、参加していただいた方はほんの一部です。本当に医療や支援が必要な方を見逃さないように今後も避難所での生活を見守ることが必要だと感じる健康チェックとなりました。

◆医学生としてできることは

金沢大学2年生

みなさんが輪島について凄く生き生きとお話していらっちゃって、大きな地震が起きても能登に愛着をもっていらっしゃる方が多かったのが印象的だった。その一方で、被災者の方が「若い人は能登に戻りたくても雇用が無く、生計を立てて行けない」とおっしゃっていたのを聞き、ライフラインや建物が復興するだけでなく、文化や社会全体の復興が求められていることに気付かされた。

金沢大学4年生

やはり、地震当時の恐怖ははかりしれないものだったことがわかった。ご飯は食べられているようだったが、これからどうしていくのか、未来に対する不安、地元がまだ安全とはいえないことへの不安があることを知った。不安と葛藤しながらも、みなさん前を向いていらっちゃった。本当に強い方々だと思うと同時に、私たちができるサポートをしていきたいと思った。

金沢大学6年生

明るく話す人が多いが、聞くと被災の実情は厳しく、気丈に振る舞っていると感じた。あきらめている人もいた。本音を引き出せる医師になりたい。将来、診察するうえで欠かせない、生活や社会的背景に目を向ける姿勢を学べるこうした機会は大切だと思った。

4月 輪島（門前町）地域訪問



復旧はまだまだ。水も通ってない地域も



ご自宅に戻っているか分からないので1軒1軒声をかけ丁寧に対話



◆自分の目でみなければ被災地の実態はわからない

4月中旬能登の桜も見られるなか、富山大学6年生3名が「被災地の現状を自らの目で確かめたい」と職員とともに輪島市門前町の地域訪問を行いました。訪問先では困っていることはないかをお聞きし、必要であれば行政の制度も紹介しています。この訪問活動は石川県健康友の会連合会※を中心に行っていますが、友の会会員の中には輪島診療所などに通う患者さんも多く、安否や現在の生活が気になる中、訪問はスタート。

輪島市街地から離れている門前町には最近まで電気が通っていなかった地域や、やっと電気が通じたものの、上下水道はまだ復旧されていない地域も残っており、飲料水と栄養剤をお渡しするととても喜んでいただけました。25軒を訪問しそのうち7軒のご家族と対話することができました。

◆足を運んで分かったこと

現在の被災状況や、自宅で過ごす方の想いは訪問しないと分かりません。医学生は、1軒1軒の訪問による安否確認はとても大事な取組みだと感じたようです。避難所から山の上の自宅に戻った90代のご夫婦のお宅を訪れた際には、とても過酷な状況で暮らしている状況に驚いた様子もありました。

「10日前ようやく電気がきたり、水がまだ使えなかったり、復旧作業の遅さが気になった」と復旧が進んでいない状況を目の当たりにし長期的な支援が必要だと感じたようです。災害医療に関心があった医学生は「急性期の対応だけでなく、その後の生活についても考えることができた」と災害時に必要な医療の在り方についても学ぶことができたようです。

「富山ではほとんど報道がされなくなっているが、関心のある学生がいるので声をかけていきたい」支援の輪をつなぐためにこれからも医学生とともに地域訪問を続けていきたいと思います。

※石川県健康友の会連合会：石川民医連に所属する病院や診療所などとともに健康で安心して住み続けられるまちづくりをすすめている会。

石川民医連では今後も被災者、地域に寄り添う支援活動を行っていきます。羽咋市、内灘町の支援活動にも力を入れています。支援活動に協力したい、知りたいと思った方は石川民医連までメールまたはお電話でお問い合わせください。

【能登半島地震支援活動（医学生・高校生ボランティア）のお申し込み】

石川民医連 金沢事務所長 藤牧（ふじまき） TEL 076 (253) 1458 MAIL gakusei@imin-iren.jp

金沢事務所（かなじむ） 宝町キャンパスから30秒！

宝町キャンパスの正門を出てすぐに見える3階建ての一軒家にある金沢事務所。2階のリビングと和室が学生が利用できるスペースとなっています。貸出図書もあり、先輩から引き継がれた懐かしの漫画や医療を学ぶ本がたくさんあります。



[住所]
金沢市石引1丁目10-7
無料Wi-Fi・施設利用料無料
毎週火曜日はランチミーティング開催

毎週火曜日は 100円ランチ ミーティング



金沢事務所は石川民医連のサポートセンターです。石川民医連の城北病院は金沢駅から徒歩10分。金沢大学からも離れているので、イベントや病院見学の案内もしています。ランチミーティングは学年を問わず交流ができ、先輩後輩の輪を広げることができます。新しいつながりを作りたい学生さんにも好評です。

[ランチミーティング情報]
毎週火曜日お昼（授業に合わせてくることができます）に開催。医学生担当者から学生LINEにお知らせしています。お申し込み・詳細はインスタDMでも可能。

使い方はいろいろ 自由に来て帰れる

サポートセンターの利用方法はさまざま。授業の合間に休んだり、仲間との学習会にも使われています。大きなパソコン用モニターもあり、複数名での学習会にも使用することができます。医学生のみならず医療系学生も！とにかく自由に使えるのが魅力です。土日、17時以降に利用したいときは事前の予約が必要です。

Welcome

医学生 医療系学生 サポートセンター

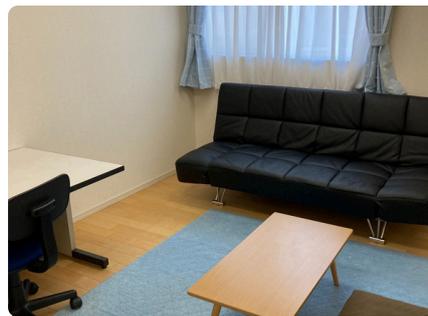
紹介



内灘事務所（なだしむ） 車で来てもOK

金沢医科大学の近くには内灘事務所があり、医学生がゆったりと過ごせる空間になっています。アパートの1階ですが、広いリビングと学習部屋があり、金沢事務所とはまた違う雰囲気となっています。

[住所]
河北郡内灘町ハマナス1-69 ハイックY101
無料Wi-Fi・施設料無料
無料駐車スペースあり



明るく広いリビングと 学習部屋

リビングの横には机といすとソファが設置されたお部屋があります。静かな住宅街なので、周りの音も気にせず集中して過ごすことができます。広いキッチンもあるので昼食をとったりお茶を飲みながら休憩にも利用できます。

駐車スペースあり 車で来てもOK

内灘事務所には無料の駐車場があります。普通車、軽自動車合わせて最大4台駐車できます。もちろん金沢医科大学以外の学生も利用することができるので、他大学との交流の場として利用するのもオススメ。



[サポートセンターを利用したいと思ったら]

石川民医連 医学生担当までお気軽にご連絡ください

石川県民主医療機関連合会：金沢市京町24-14

TEL：076 (253) 1458

メール：gakusei@imin-iren.jp

InstagramDMもOK 📍QRコードからご連絡ください

